



2023年12月期 第2四半期
決算説明資料

株式会社sMedio

(東証グロース：3913)

2023年8月14日

本資料の複写、転用はしないで下さい

- 連結業績ハイライト ④
- 連結決算概要(PL) ⑤
- 連結決算概要(BS) ⑥
- 収入形態別連結売上推移 ⑦
- 連結営業利益・連結経常利益推移 ⑧
- 事業ハイライト ⑩

2023年12月期
第2四半期
決算概要

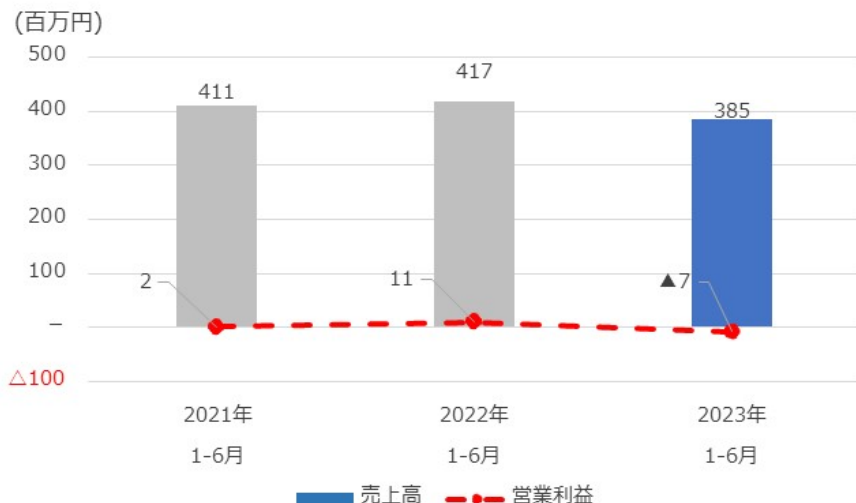
■ 売上高は、385百万円（前年同期は417百万円）

主な減収要因は、前年同期比で受託開発収入が▲17百万円、保守・サポート収入が▲14百万円減少したことによります。

■ 営業利益は、▲7百万円（前年同期は11百万円の黒字）

売上高が減少した一方で、売上原価と販管費が減少したことにより、当第2四半期の営業利益は▲7百万円となりました(詳細はP5をご参照ください)。

■ 最終利益は、▲1百万円（前年同期は21百万円の黒字）



期初計画からの進捗状況

単位:百万円

	2023年2Q			予算進捗率	
	予算	実績	差異	年間予算	進捗率
	A	B	B-A	C	B/C
売上高	394	385	▲8	845	45.6%
営業利益	▲29	▲7	21	25	n/a
当期純利益	▲27	▲1	25	10	n/a

連結決算概要 (PL)

単位：百万円

	2021年 1-6月	2022年 1-6月	2023年 1-6月	前年同期比	
売上高	411	417	385	▲31	▲7.6%
売上原価	195	195	188	▲6	▲3.3%
売上総利益	215	222	196	▲25	▲11.5%
販管費	213	210	204	▲6	▲3.0%
営業利益	2	11	▲7	▲19	n/a
営業外収益	4	20	10	▲9	▲46.4%
営業外費用	0	–	–	–	n/a
経常利益	7	31	3	▲28	▲90.1%
特別利益	–	–	–	–	n/a
特別損失	–	–	0	0	n/a
税金等調整前当期純利益	7	31	2	▲28	▲90.7%
法人税等	18	9	4	▲5	▲52.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	▲11	21	▲1	▲23	n/a
売上原価率	47.5%	46.8%	49.0%	2.2p	n/a
営業利益率	0.6%	2.7%	▲2.0%	▲4.7p	n/a

- 売上高：受託開発収入が前年同期比で▲17百万円、保守・サポート収入が▲14百万円減少しました。
- 営業利益：売上高が減少した一方で、販管費が減少(研究開発費の減少等)したことで営業利益は▲7百万円となりました。

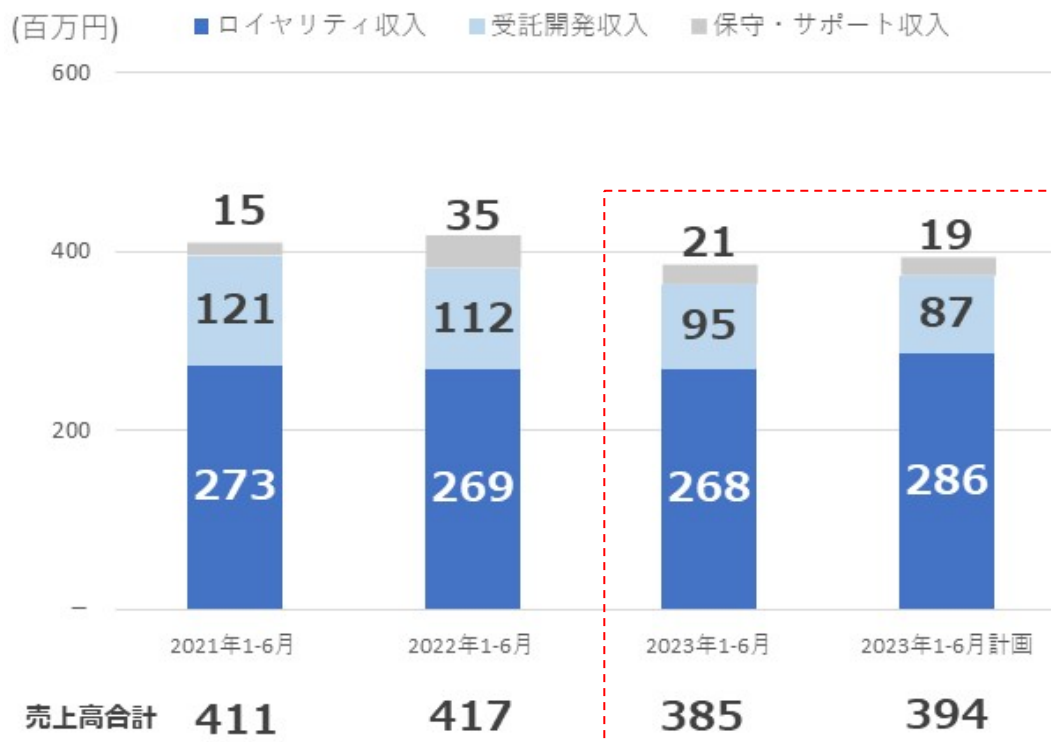
連結決算概要 (BS)

単位：百万円

資産	2021年 12月	2022年 12月	2023年 6月	前期末比
現金及び預金	570	889	945	55
売掛金	45	181	147	▲33
仕掛品	30	12	17	4
原材料及び貯蔵品	520	235	207	▲28
その他	21	26	17	▲8
流動資産合計	1,189	1,346	1,336	▲10
有形固定資産	15	14	13	▲1
ソフトウェア	5	3	2	▲0
のれん	1	—	—	—
その他	1	1	1	0
無形固定資産合計	8	4	4	▲0
投資その他資産	36	28	28	▲0
固定資産合計	60	48	46	▲1
資産合計	1,250	1,394	1,382	▲11

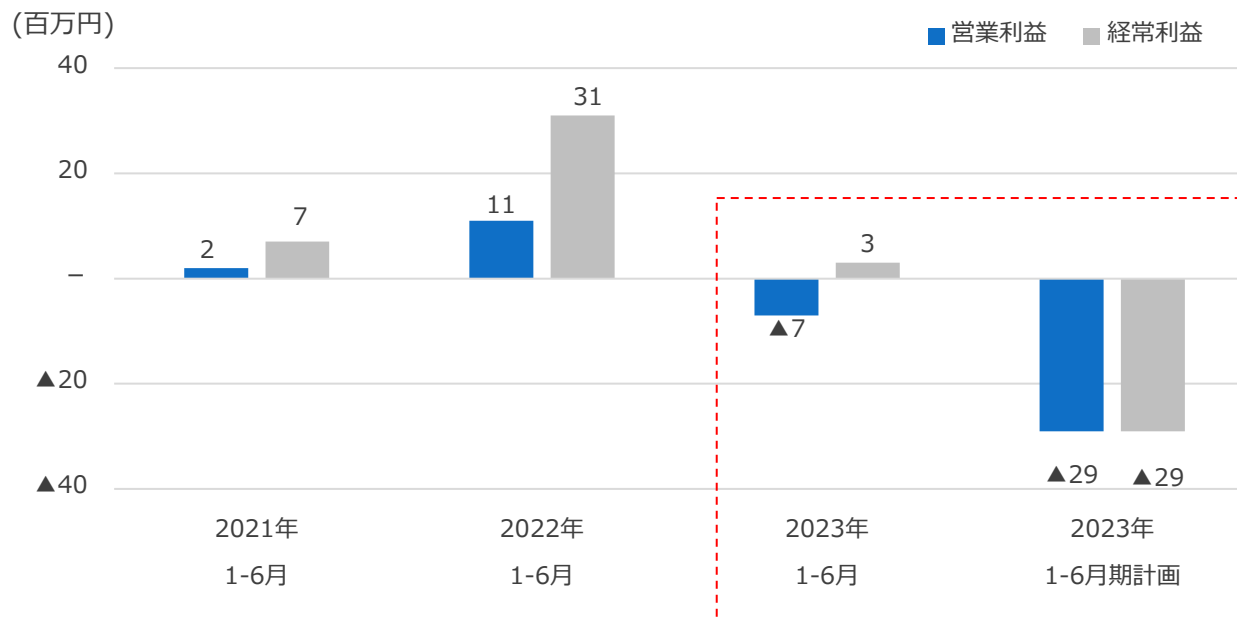
負債・純資産	2021年 12月	2022年 12月	2023年 6月	前期末比
買掛金	12	20	17	▲2
未払法人税等	3	14	5	▲8
賞与引当金	2	2	4	1
工事損失引当金	1	—	—	—
その他	88	122	117	▲4
流動負債合計	106	159	145	▲14
固定負債合計	9	13	10	▲3
負債合計	116	173	156	▲17
資本金・資本剰余金	1,165	1,347	1,341	▲6
利益剰余金	145	23	22	▲1
自己株式	▲194	▲176	▲166	9
その他	16	25	29	3
純資産合計	1,133	1,221	1,226	5
負債・純資産合計	1,250	1,394	1,382	▲11

- 資産：原材料及び貯蔵品は使用に応じて▲28百万円減少しています。
- 負債：その他の流動負債の減少は、主に未払税金の減少によるものです。
- 純資産：自己資本の水準について、当四半期末において自己資本比率は80%超であり、引き続き、財務の健全性は維持しております。



- ロイヤリティ収入：前年同期比では微減となり、計画比では出荷数が計画を下回った顧客製品があり減収となりました。
- 開発収入：前年同期比では前期に大型案件があった反動で当期は減収となりましたが、計画比では当初の想定より案件数が増加したため増収となりました。
- 保守・サポート収入：保守対象の減少により、減収となりました。

連結営業利益・連結経常利益推移



■ 営業利益・経常利益

前年同期比では減益幅が大きくなりましたが、計画比では計画を上回りました。

2023年12月期
第2四半期
事業ハイライト

パソコン・デジタル家電向け組込みソフトウェア事業

- 第2四半期(1-6月)での売上高は、262百万円。（前年同期比：▲23百万円）
- ロジテック（株） ポータブルブルーレイドライブに「sMedio True BD SE for Logitec」の採用が決定、4月から出荷開始。
- 「Valution BD(4K対応版)」が2,600万ライセンスに到達。

建設DXサービス事業

- 第2四半期(1-6月)での売上高は、30百万円。（前年同期比：▲9百万円）
- KPI（重要目標達成指数）

	当期末目標	当四半期末実績	前期末実績
累計採用企業数(社)	10社超	8	8
累計採用トンネル数(本)	60	37	32

- 「切羽AI評価サービス」が、（株）森本組(7月から使用開始)と清水建設（株）(8月から使用開始予定)の2社で採用決定。
- 「濁水処理AI解析サービス」の提供を開始、西松建設（株）で採用決定。（4月から使用開始）
- sMedioが参画した国土交通省「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」が評価Aを獲得。（2年連続）

セキュリティ・プライバシー事業

- 第2四半期(1-6月)での売上高は、87百万円。（前年同期比：▲4百万円）
- クラウド型スマートフォンバックアップサービス「sMedio Cloud Backup」の企業顧客2社目の採用が決定し、9月よりサービスイン予定。1月から採用中の企業顧客1社についてもおおむね想定通り加入者を獲得。（7月末時点で、3,500名の有料ユーザー。）

IoTソリューション事業

- 第2四半期(1-6月)での売上高は、5百万円。（前年同期比：－）
- 大手ゼネコン1社が、施工中の山岳トンネル建設現場において、環境測定、クラウドによる一元管理、iOSアプリで可視化するシステムを実証運用を開始。Kiwi Technology, Inc.のLoRaWAN対応ゲートウェイとセンサーを活用。

- 本資料は、2023年8月14日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社（連結子会社を含む）の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込み、または予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望には、様々なリスクや不確実性が内在しています。既知、もしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと保証することはできず、実際の結果が将来の展望と著しく異なることもありえます。
- 本資料中の数値は、単位未満切捨てで表示しており、その影響で表中の合計と一致していない場合があります。

